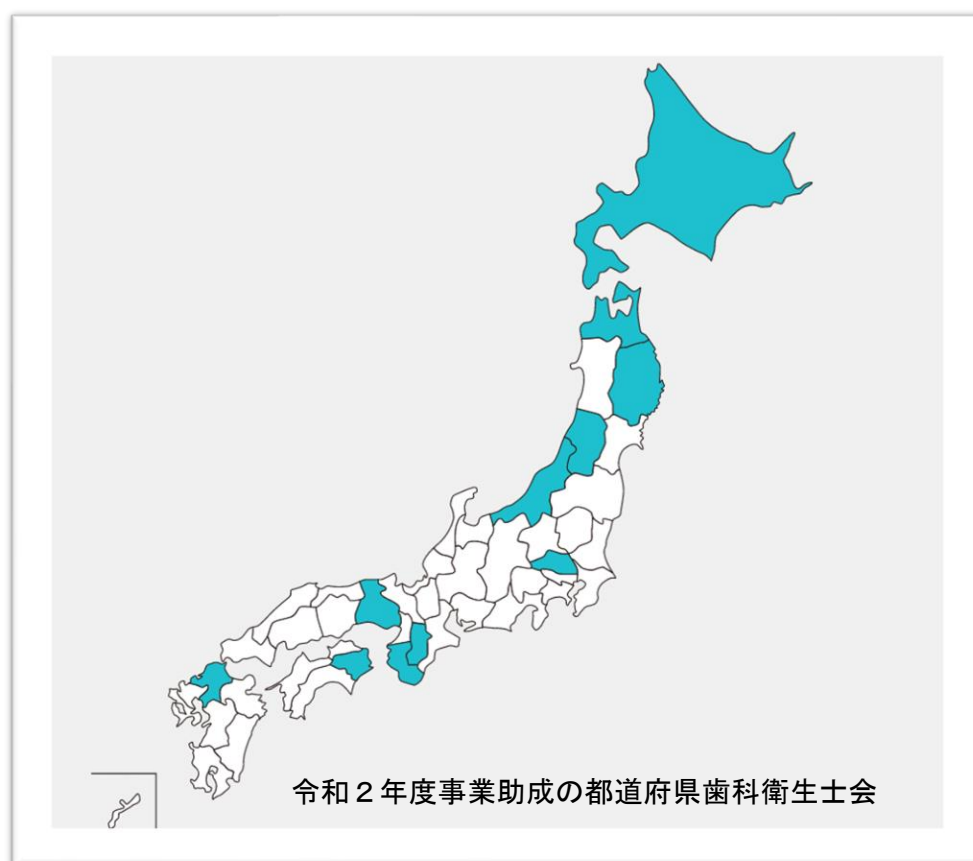


令和2年度
地域歯科衛生活動事業助成実施報告書



令和3年4月
公益社団法人日本歯科衛生士会
地域歯科保健委員会

令和2年度 地域歯科衛生活動事業助成交付要項

1 目的

地域住民の歯科口腔保健の向上に関する事業をより一層推進するため、申請団体等の地域歯科衛生活動に対して30万円を上限として助成金を交付する。

本助成は「歯科口腔保健の推進に関する法律」の制定・公布（平成23年8月10日）を記念し、平成24年度から実施する。

2 対象団体

- (1) 「地域歯科衛生活動」事業を主催事業（共催等含む）として実施する都道府県歯科衛生士会。
- (2) 日本歯科衛生士会が指定する対象事業を、主催事業（共催等含む）として実施する団体または関係機関。

3 対象事業

地域住民の歯及び口腔の健康づくり、生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上等、歯科口腔保健の推進に寄与する事業であること。

事業項目は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 母子歯科保健に関する事業
- (2) 学校歯科保健に関する事業
- (3) 事業所歯科保健に関する事業
- (4) 成人歯科保健に関する事業
- (5) 障害(児)者歯科保健に関する事業
- (6) 高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健に関する事業
- (7) 食育推進に関する事業
- (8) 多職種連携・協働による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業
- (9) その他歯科口腔保健の推進に関する事業

留意事項

- (注1) 事業の実施内容及び実施方法が他の地域においても応用できるものであり、かつ普遍性の高いものであること。
- (注2) 同一事業の申請は3年を限度とする。
- (注3) 事業の成果について、歯科衛生士会より、会報等に報告できるものであること。
- (注4) 事業の成果について、日本歯科衛生士会学会学術大会での発表、および学会雑誌への論文投稿を目指すものであること。
- (注5) 事業の実施にあたり、可能な限り、地方公共団体、歯科医師会、教育機関、関連施設、関係団体等との連携協力が得られるものであること。

令和2年度 地域歯科衛生活動事業助成事業実施報告

令和2年度の事業助成は13都道府県会から申請があり、審査委員会による審査の結果、11都道府県会に助成金を交付しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく事業が中止、延期となるなど計画通りの実施が困難であったという会の報告もありましたが、令和2年度の実施報告をまとめましたので、今後の事業実施の参考にご覧願います。

令和2年度 地域歯科衛生活動事業助成交付事業一覧 ※都道府県順に掲載

事業実施期間：令和2年4月～令和3年2月28日



No.	都道府県会名	助成対象事業	実施事業名	助成交付支出
1	北海道 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業	子育て支援における口腔健康管理に関する啓発事業	0円 ※事業実施困難
2	青森県 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業	保育園児、幼稚園児及び保護者対象の歯科保健調査、普及啓発事業	223,421円 ※計画変更
3	岩手県 歯科衛生士会	(8)他職種連携・協働による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業	地域ケア会議における多職種連携推進研修事業	300,000円
4	山形県 歯科衛生士会	(8)他職種連携・協働による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業	医療介護連携センター圏内における多職種連携・協働による口腔ケア推進事業	140,819円 ※計画変更
5	埼玉県 歯科衛生士会	(5)障害(児)者歯科保健事業	聴覚障がい者、ろう重複障がい者への口腔衛生指導および口腔機能向上支援事業(追跡調査)	222,000円
6	新潟県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業	認知症高齢者への歯科衛生士介入による認知機能低下予防プロジェクト	60,810円 ※計画変更
7	兵庫県 歯科衛生士会	(4)成人歯科保健 (6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業	元気100歳を目指した口腔健康寿命の延伸事業 人生の折り返し地点、50歳からのオーラルフレイル予防	300,000円 ※計画変更
8	奈良県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する事業	299,780円
9	和歌山県 歯科衛生士会	(4)成人歯科保健事業	糖尿病患者への歯周病改善に向けた啓発事業	290,000円
10	徳島県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進事業	歯科衛生士の離職防止・復職支援システムの構築	187,951円 ※計画変更
11	福岡県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業	通いの場等で健康教育を行うための歯科衛生士活用システム構築	300,000円
			計	2,324,781円

令和2年度 地域歯科衛生活動事業助成交付事業報告


No.2 青森県歯科衛生士会(継続2年目)

1	事業実施団体名	主催 一般社団法人 青森県歯科衛生士会 実施 田子、しんごう、上郷保育園、田子幼稚園 協力歯科 乗上歯科医院、山口歯科医院
2	事業名	保育園児、幼稚園児の保護者を対象とした歯科保健に関する調査および普及啓発事業
3	実施回数、開催日等	4施設でのアンケート調査実施、2回の親子学習会の開催
4	対象者および参加人数	アンケート調査対象者 204人 実施施設4か所、参加保護者等 795人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
5	従事者等	延 25人 (実人数 歯科衛生士7人、歯科医師1人、その他0人)
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園児、幼稚園児への歯科講話、歯みがき指導の実施 ・ 親子学習会の開催 ・ 保護者対象のアンケート調査の実施
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子で指導を受けることで、家庭での歯みがき行動の意識づけの機会となった。 ・ 保護者学習会では、仕上げみがきの必要性、フロスの使用などの指導により、むし歯予防の理解が得られた。
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導を実施した地域は県内でも乳幼児のう蝕が多く、一部の地域ではフッ化物塗布や洗口を実施しているものの、今後、う蝕減少に向けた継続した指導の実施と、行政と歯科衛生士会の連携が課題である。
9	【添付資料】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">園での指導の様子</p>

No.3 岩手県歯科衛生士会(新規 継続)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 岩手県歯科衛生士会
2	事業名	地域ケア会議における多職種連携推進研修事業
3	実施回数、開催日等	1日 令和2年11月1日(日) 10時～15時 いわて県民情報センター「アイーナ」
4	対象者および参加人数	参加者 52人 (内訳 歯科衛生士27人、その他職種計25人)
5	従事者数等	延28人
6	事業概要	研修会の開催 講師 菅野洋子氏(福島県歯科衛生士会) 助言者 栄養士会、薬剤師会、理学療法士会、作業療法士会 高齢者ケアに携わる管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士を対象に研修会を開催し、高齢者の自立支援と要介護者の重度化防止に向けた「運動と口腔」「栄養と口腔」についての情報共有。
7	得られた効果	地域ケア会議は運動機能向上についての助言が中心になることが多いが、多職種合同の研修会を実施することで、食べる機能の維持、口腔衛生管理の重要性について理解が得られた。
8	今後の課題	地域包括支援センターでは職員が事前に把握した事例に関係する専門職を選定していることがあり、口腔が問題とするケースが少ない状況である。すべての地域ケア会議に歯科衛生士が参画し、専門性が発揮できるようなアプローチを行うこと。
9	【添付資料】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>研修会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>多職種でのグループワーク</p> </div> </div>

No. 3 山形県歯科衛生士会(継続2年目)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 山形県歯科衛生士会
2	事業名	医療介護連携センター圏内における他職種連携・協働による 口腔ケア推進事業
3	実施回数、開催日等	高齢者施設3か所 15日間 ※歯科衛生士が施設に訪問して指導を実施したが、訪問中止となつた施設もあった。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更あり。
4	対象者および参加人数	施設利用の高齢者 122人
5	従事者数等	延 29人 (実人数 歯科衛生士 8人)
6	事業概要	・昨年度からの継続及び新規の歯科衛生士8名が、3圏域内の各高齢者施設3か所(特養、養護老人ホーム、サービス付高齢者住宅)に訪問し、利用者への指導を行うとともに、施設職員への技術支援を実施した。
7	得られた効果	・令和2年度の継続事業として令和3年度も実施できたことにより、施設職員への研修会実施の効果について把握ができ、問題点や課題が得られた。 ・施設では、直接に歯科衛生士の手技を見学することにより、手ごたえを感じた。担当の歯科衛生士も資質向上の必要性や対応可能な人数の増加の必要性が感じられた。
8	今後の課題	今回、事業対象の医療介護連携センターでの取り組みは他職種との連携が欠かせないが、勤務する歯科衛生士が少ない地域であり、確保が課題。また、口腔ケアが施設職員の負担にならないよう工夫も必要である。 今後、歯科衛生士の育成を目的とした研修会等の開催を行っていく。
9	【写真など添付資料】	 <p>令和2年度医療介護連携センター圏内における多職種連携・協働による口腔ケア事業 『口腔ケアに関する知識、技術の資質向上のために』</p> <p>主催 一般社団法人 山形県歯科衛生士会 特別養護老人ホームかつろくの里 職員研修会 一般社団法人 山形県歯科衛生士会 古瀬順子</p>

No.5 埼玉県歯科衛生士会(継続2年目)


1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 公益社団法人 埼玉県歯科衛生士会
2	事業名	聴覚障がい者、ろう重複障がい者への口腔衛生指導および口腔機能向上を目的とした支援事業
3	実施回数、開催日等	1施設 さいたま市地域活動センター「春里どんぐりの家」 3日間実施
4	対象者および参加人数	施設利用の障がい者 32人
5	従事者数等	延 17人 (歯科衛生士 15人、歯科医師 2人)
6	事業概要	さいたま市地域活動センター春里どんぐりの家の利用者 22名を対象に指導を実施。 全体指導は zoom を活用して口腔体操を実施した。 また、個別指導では口腔内の観察、歯ブラシのチェック、ムカスを使用した口腔乾燥のチェックを行った。
7	得られた効果	2014年度から実施しているので、活動が定着してきた。 歯科指導や歯科検診で利用者の拒否が見られなくなった。 さらに、施設職員に適切な助言を行うことができ、口腔ケアへの理解が深まり、習慣化につながった。
8	今後の課題	・毎日活用できる口腔機能低下を防止するためのプログラムの作成。 ・歯科受診の必要性への理解を図るためのアプローチ方法。

【添付資料】



施設での指導の様子

No.6 新潟県歯科衛生士会(継続3年目)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 新潟県歯科衛生士会
2	事業名	認知症高齢者への歯科衛生士介入による認知機能低下予防プロジェクト
3	実施回数、開催日等	10日間 新潟県歯科衛生士会で作業実施 打ち合わせはwebで実施 ※webでの開催など計画変更あり
4	対象者および参加人数	歯科衛生士4人
5	従事者数等	延21人(歯科衛生士20人、認知症上級ケア専門士1名)
6	事業概要	平成29年度、30年度の2年間、本事業助成で取り組んだ内容をまとめ、「認知症高齢者の口腔健康管理マニュアル」を作成した。
7	得られた効果	認知機能低下予防のための口腔健康管理ツールを作成した 今後は、認知症地域支援推進員や地域住民と協働で、認知症の支援体制の整備、歯と口の健康づくりの推進に向け、活動する。
8	今後の課題	歯科衛生士が認知症高齢者に関わる場面が増加すると考えられるが、認知機能低下予防を目的とした口腔健康管理の実践を通してニーズに応えるための歯科衛生士のスキルアップの継続と拡大。
9	【添付資料】	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">一般社団法人 新潟県歯科衛生士会</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">認知症高齢者への歯科衛生士介入による 認知機能低下予防プロジェクト</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; color: red;">② お口の体操・レクリエーション</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアを楽しみにしている。 ・交流が刺激となりシャキッとされている ・楽しかった！ またやりましょう。 </div> </div> </div>

No. 7 兵庫県歯科衛生士会(新規 単年度)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
2	事業名	元気100歳を目指した口腔健康寿命の延伸事業 ～人生の折り返し地点、50歳からのオーラルフレイル予防～
3	実施回数、開催日等	特定健診会場 1か所 3日間 フレイル対策研修会 1回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更あり。
4	対象者および参加人数	特定健診会場参加者 141人 研修会出席者 60人
5	従事者数等	延4人(歯科衛生士)
6	事業概要	・65歳までの成人を対象としたオーラルフレイル予防リーフレット、パネルの作成 ・フレイル対策研修会の開催 ・特定健診受診者のうち希望者に指導実施
7	得られた効果	・特定健診受診者に実施した指導では、オーラルフレイルへの理解が深まり、知識の普及の機会となった。 ・フレイル対策研修会ではパネル展示も行い、効果的に開催できた。また、リーフレットが65歳までを対象にした内容であり、早期にオーラルフレイルに取り組む機会となった。
8	今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや集団での指導の機会が減少し、リーフレット、パネルの効果的な活用が難しい状況となった。

【添付資料】リーフレット

The image displays several health-related materials:

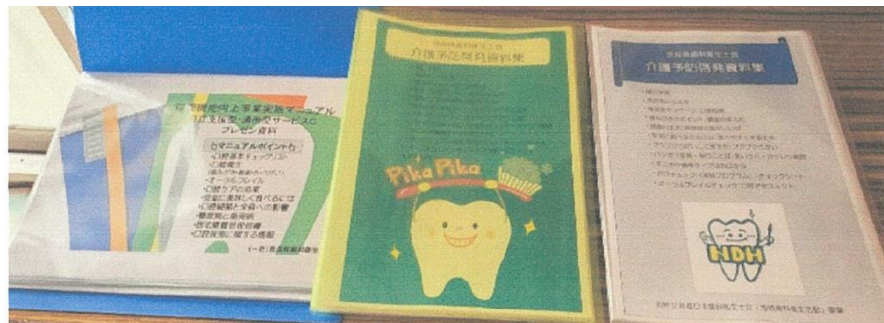
- Leaflet (Left):** Titled "50歳になったら考えよう お口の健康 オーラルフレイル予防". It features a large tooth illustration and lists keywords for oral health: ①むし歯, ②歯周病, ③くいしばり、お口の乾燥, ④かむ力を促す, ⑤セルフケアと定期検診.
- Diagram (Middle-Left):** Shows a cross-section of a tooth with labels for 歯冠(歯の上部), 歯根(歯の下部), 歯肉(歯の周りの肉), and 歯槽膿漏(歯肉の腫れ). It includes a "Check" section with a mirror and a "Point" section about brushing technique.
- Diagram (Middle-Right):** Titled "歯を失う一番の原因は歯周病です". It shows a progression of gum disease from healthy gums to severe recession and tooth loss. It includes a "Check" section with symptoms like bleeding and bad breath, and a "Point" section about regular dental checkups.
- Poster (Right):** Titled "人生100年時代 ~食べる、話す、笑うを支える~". It features a family illustration and lists tips for maintaining oral health in the 100-year-old era, such as eating well, staying hydrated, and regular dental visits.

No. 8 奈良県歯科衛生士会(新規 単年度)

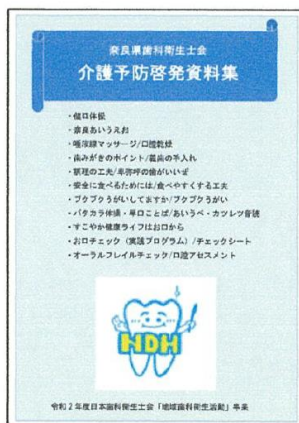
1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 奈良県歯科衛生士会
2	事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する事業
3	実施回数、開催日等	研修会 1日 地域ケア会議 18日 高齢者の通いの場 2か所
4	対象者および参加人数	研修会 22人 地域ケア会議 18人 高齢者の通いの場 2人
5	従事者数等	延41人 (歯科衛生士40人、作業療法士1人)
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士対象の人材育成研修会の開催 1回 ・ オーラルフレイル予防用チラシの作成 ・ 通いの場や在宅等のアウトリーチ用の媒体制作
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修実施後のアンケートによると、地域ケア会議を含め地域包括ケアの興味や知識習得を目的に参加した歯科衛生士が多いことが把握できた。 ・ オーラルフレイル予防用チラシの作成により、他職種が保険者に情報を伝えやすくなった。
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や多職種に歯科保健の理解を深めるための情報提供。 ・ 在宅歯科連携室やかかりつけ歯科医など地域の歯科医院とのつながりの強化。

【添付資料】

作成媒体



資料集



No.9 和歌山県歯科衛生士会(新規 単年度)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会
2	事業名	糖尿病患者への歯周病改善に向けた啓発事業
3	実施回数、開催日等	歯科衛生士研修会 1日 実態調査アンケート 578枚配布 回収33枚
4	対象者および参加人数	研修会 48人
5	従事者数等	延15人 (歯科衛生士15人)
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士研修会の開催 ・実態調査アンケート 2か所 ・糖尿病予防リーフレット及びポスターの作成と配布
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者、他医療職に糖尿病と歯周病の関係を周知する機会となった。 ・実態調査を実施することで、認定歯科衛生士の認知度が低い状況を把握できた。
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者の定期的なかかりつけ歯科医への受診状況の変化についての確認方法。 ・アンケート回収率の増加方法の検討

【添付資料】

糖尿病とお口の健康

歯周病と糖尿病は、お互いに悪影響を及ぼします

糖尿病 → 血管の老化 免疫反応の低下 → 歯周病に感染しやすくなる → **歯周病** → 歯肉の炎症 → インスリンの働きが妨げられる → **高血糖** → 血糖コントロール不良 → **糖尿病**

糖尿病は糖尿病に悪影響を与える

何でも噛めるお口で身体も健康に！

歯周病によるお口の中の炎症と咀嚼機能低下をいち早く発見し改善させることが大切です

歯科医院

歯科医院では、
・むし歯や歯周病の検査と治療
・かみ合わせのチェック
・お口のクリーニングと歯磨き指導
などを行います

フロケア

セルフケア

汚れの残りやすいところは
丁寧に磨きましょう
自分に合った歯間清掃用具
も使いましょう

かかりつけ歯科医院で定期受診しましょう
きれいなお口で血糖コントロール！

発行 一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会
URL: <https://wakayama.jdha.or.jp/>

歯周病のチェックリスト

自分のお口の症状をチェックしましょう！

- 朝起きたら口の中がネバネバする
- ブラッシング時に出血する
- 歯肉が赤く腫れている
- 歯にクラつきがある
- 食べ物がしつかり噛めない
- 歯と歯の間に食べ物がはさまる
- 歯肉が下がりが長くなった気がする
- 歯がしみる

！つてもチェックがあれは歯周病の可能性がります。チェックがある方は、歯科医院でプロケアを受けましょう。

かかりつけ歯科医院を作りましょう

かかりつけ歯科医院とは、痛くなった時に受診するのではなく、治療が終わった後も、定期受診する歯科医院のことです。歯科受診の際は、糖尿病連携手帳やお薬手帳を持参し、医師歯科連携治療につなげていきましょう。

防災の備えにオーラルケア用品

備えがきセット、歯間ブラシ、歯磨き粉、入れ歯洗浄剤、歯磨きケース

災害が発生した直後は、お口のケア用品が不足します。いざというときに、自分がいつも使用している歯ブラシなどを準備しておきましょう。

※本資料 / 資料提供: 和歌山県歯科衛生士会、和歌山県歯科衛生士会
発行 一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会
URL: <https://wakayama.jdha.or.jp/>

糖尿病とお口の健康

歯周病は糖尿病の合併症の一つです！

★きれいなお口で★
血糖をコントロールしましょう！

一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会

作成リーフレット

作成ポスター

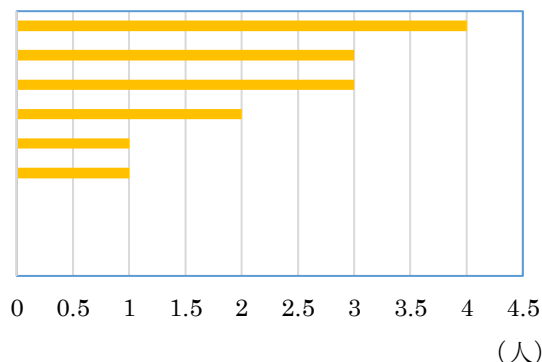
No.10 徳島県歯科衛生士会(継続2年目)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 徳島県歯科衛生士会 (協力団体：徳島県歯科医師会、徳島歯科学院専門学校 四国歯科衛生士学院専門学校、専門学校穴吹カレッジ)
2	事業名	徳島県における歯科衛生士離職防止・復職支援システムの構築
3	実施回数、開催日等	新人歯科衛生士 web 研修会の開催 2回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更あり
4	対象者および参加人数	新人歯科衛生士のアンケート調査対象者 46人 web 研修会参加 2回 91人
5	従事者数等	延5人(歯科衛生士)
6	事業概要	・新人歯科衛生士の悩みや不安についてのアンケート調査実施 ・日本歯科衛生士会作成の「歯科診療所等における新人歯科衛生士等の育成プロセス」の配布と使用後のアンケート調査実施 ・新人歯科衛生士対象の web 研修会の開催
7	得られた効果	・新人歯科衛生士のアンケート調査結果から、離職の理由や希望する研修会の内容について把握できた ・新人歯科衛生士等の育成プロセス冊子活用状況が把握できた ・web 研修会となったが多数の参加があった
8	今後の課題	コロナ禍の影響を受け、新人歯科衛生士は十分な実習ができないまま卒業し勤務している状況であり、今後は実習を伴う研修会の開催を増やし離職防止に努めたい

【添付資料】

育成プロセス冊子を活用してよかった点(アンケート結果より)

目標を設定しやすい
やるべきことを視える化できた
育成プランをたてやすい
スタッフ間のコミュニケーションが増える
新人の成長が確認できる
育成項目の優先順位を考えやすい
新人の育成について情報共有できる
職場全体で新人育成を行う為の負担が少ない
その他



レントゲン読影研修会資料の一部



「つながるライン」研修会の周知方法に導入

No.11 福岡県歯科衛生士会(継続 新規)

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催 一般社団法人 福岡県歯科衛生士会 共催 一般社団法人 福岡県歯科医師会
2	事業名	高齢者のオーラルフレイル予防事業
3	実施回数、開催日等	歯科衛生士研修会の開催 4 か所 歯科保健指導 2回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更あり。
4	対象者および参加人数	計 165 人 歯科保健指導参加者数 2回 30人 介護予防研修会の開催 74人 歯科衛生士研修会の開催 61人
5	従事者数等	延 9 人 (歯科衛生士 8 人、歯科医師 1 人)
6	事業概要	歯科保健指導の媒体作成及びホームページに掲載 ・テキスト「歯ミング教室」、「歯科衛生士実践マニュアル」 ・市町村活用として、オーラルフレイル予防テキスト作成 ・歯科保健指導の実施 ・歯科衛生士対象のマニュアル活用などの研修会の開催
7	得られた効果	・テキスト、マニュアルを作成し、ホームページに掲載することにより、また歯科衛生士へのマニュアル活用研修会を開催したことで、多くの歯科衛生士がオーラルフレイルの指導を担当することができた。 ・歯科医師会と共催により、市町村にもテキストを配布でき普及啓発が幅広く行えた。
8	今後の課題	オーラルフレイル予防に関する歯科保健指導が行える歯科衛生士の確保と、歯科医師会及び市町村との連携。

【添付資料】テキスト、マニュアルの作成

歯ミング教室



オーラルフレイルを予防して
健康寿命を延ばしましょう！

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを
安心・安全に続けていくために
**フレイルを
予防しましょう！**

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のための 歯科衛生士実践マニュアル



オーラルフレイルを予防して
健康寿命を延ばしましょう！

**歯ミング教室は楽しく
進めることが大切です！**
高齢者の生活習慣にリンクさせながら、
継続したいと思えるような教室にしましょう。
QRコードから実際の『歯ミング教室』
の様子が視聴できます。

